

令和元年度

(自)平成31年4月1日～(至)令和2年3月31日

社会福祉法人 高瀬会 事業報告書

◎法人事業の概要報告	・・・	1 頁
○社会福祉事業		
介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 古座川園	・・・	4 頁
介護老人保健施設 老人保健施設 あじさい苑		
老人保健施設 あじさい苑	・・・	9 頁
通所リハビリテーション	・・・	12 頁
在宅複合型施設 グリーンヴィレッジ古座川		
短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川	・・・	14 頁
高瀬会訪問介護ステーション	・・・	17 頁
高瀬会デイサービスセンター	・・・	19 頁
グループホーム もみの樹	・・・	21 頁
高瀬会地域密着型バーデンライフ・ケアセンター 湯ごりの郷		
軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷	・・・	23 頁
グループホーム 湯ごりの郷	・・・	25 頁
小規模多機能ハウス 湯ごりの郷	・・・	28 頁
デイサービスセンター 湯ごりの郷	・・・	30 頁
ふれあいサロン ゆかし庵	・・・	32 頁
高瀬会第2訪問介護ステーション	・・・	36 頁
古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり	・・・	38 頁
○公益事業		
南紀ケアプランセンター	・・・	40 頁
南紀ケアプランセンター那智勝浦	・・・	43 頁
南紀ケアプランセンター串本	・・・	45 頁
高瀬会訪問看護ステーション	・・・	48 頁
配食サービスセンター	・・・	50 頁
湯ごりの郷配食サービス	・・・	51 頁
古座川町地域包括支援センター	・・・	52 頁
たかせ会記念診療所	・・・	55 頁
人材育成事業	・・・	56 頁

法人事業の概要報告

厚生労働省では高齢者の方が、介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで尊厳ある自立した生活を送ることが出来るよう、質の高い保険医療・福祉サービスの確保、将来にわたって安定した介護保険制度の確立などに取り組んでいる中で、当法人におきましても、「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」の理念のもとに、県や市町村をはじめとする関係機関と連携し事業の運営を行っているところでございます。

当周辺地域では過疎化及び少子高齢化に伴い人口減少、特に労働生産性が高い世代の人口減少が著しく、また福祉ニーズの多様化・複雑化する中で、介護職員等の確保が困難な状況が続いてございます。

当年度に於きましてもこのような状況を背景としながら、地域の社会福祉法人としての役割を果たすため、職員一同介護サービスの質の向上に取り組んでまいりました。

1. 法人の組織強化

法人の組織の運営を効率的に進めるため、職員の異動配置を適宜実施すると共に、会計事務所による月1回の巡回監査指導を依頼し、適正な財務運営に努めてまいりました。

2. 防災対策等の強化

火災をはじめ水害や地震等の自然災害から、ご利用者様の安全確保を図るため、法人が作成した非常災害計画に基づき、ご利用者様のご協力を得ながら、避難訓練を行うとともに、古座川町が実施する防災通信訓練に高瀬区の施設として職員が参加をしてまいりました。また職場外研修として「福祉避難所の設置・運営に関する実務研修」に3名、「去年の台風15号から始まる暴風雨災害にどう備えるかの研修」に3名の職員が参加してございます。

3. 社会福祉法人としての地域貢献

社会福祉法人の責務となった公益的な取組について以下のとおり行いました。

- ① 職場体験・実習者については、近畿大学医学部生の福祉実習を2回に分け9日間、延人数にして28名、なぎ看護学生の実習を4日間で延12名、の受入れを行ないました。

また、体験学習として古座川町立明神中学校・古座中学校、那智勝浦町立下里中学校の生徒、延人数25名の受入れを行いました。

- ② 古座川町地域包括支援センターでは、高瀬会の理学療法士による「介護の教室」を小川地区・下露地区で実施し、住民の方々に介護について学んでいただきました。また町社会福祉協議会と連携し、各地区集会所に於いて「ふれ愛カフェ」22回、「認知症カフェ」8回を実施し、地域高齢者との交流を深めました。
- ③ 「庄いきいきサロン、中里いきいきサロン、浦神西いきいきサロン、(那智勝浦

町)」に講師として参加し、ハーバリウム教室や介護予防体操・腰痛予防についての説明と、地域住民からの介護に係る相談等に対応しました。

- ④ 地域との交流の場として、夏祭り（高瀬地区・湯川地区）、高瀬会文化祭、明神小学校との交流運動会などを開催する他、古座川の秋まつりへのブース出店や地域の清掃活動「古座川の大掃除」に理事長をはじめ多数の職員が参加しました。

4. 人材確保と定着

介護職員等の人材確保のため、ハローワークへの継続した求人広告、インターネットを利用した求人企業広告、「UIわかやま就職ガイド」企業ガイドブックへの広告等々を行ってございます。また新宮市で開催された「ふるさとUターンフェア企業説明会」、「福祉・介護・保育のしごと相談・面接会」に職員が参加をして相談・面接を行うなど、人材の確保に努力を行っているところでございます。

また、職員の皆様が長期就労をして頂くため、ストレスチェックや腰痛予防の健康診断等の実施などにより、職員の抱える業務上の悩みの把握に努め、健康管理に取り組みを行っているところでございます。

5. 人材育成

介護職員に必要な倫理性、知識、能力、技術などの専門性や組織人としての知識や技術を身につけるため、外部研修では和歌山県認知症介護実践研修“7日間”に2名（田辺市）、近畿老人福祉施設研究協議会に6名（滋賀県）、客談吸引等研修に1名（新宮市）、介護支援専門員更新研修に1名（上富田町）、人権擁護推進委員研修会に10名（那智勝浦町）、介護施設に於ける看取りケア研修に4名（那智勝浦町）等に参加をしてございます。内部の事業所内研修では、事業所のそれぞれの課題となっている事柄に対して研修を行ってございます。

また、当法人の奨学金活用では理学療法士を目指して2名の方が現在就学してございます。

6. 介護職員等の処遇改善

介護職員等特定処遇改善加算を原資として、令和元年10月から「特定処遇改善手当」を創設し、毎月職員の全員に支給をしてございます。また介護職員処遇改善加算を原資として5月、9月及び3月に一時金として、以前から支給を行っていましたが、令和2年度からは「処遇改善手当」として、毎月々介護職員の全員に支給を行うことになってございます。

7. 人権尊重

和歌山県と引き続き「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結し、職員への啓発を行ってきました。

8. その他（新型コロナウイルス）

年度終盤には、新型コロナウイルスの拡散防止対策のため、全事業所では面会の中
止を実施し、厚生労働省や和歌山県の情報等を得ながら、その対策を行っているところ
でございます。

特別養護老人ホーム 古座川園

1. 施設サービス稼働率について

ご利用者様の入退所、入退院の連携を図り、施設サービスの適切な提供に努めました。結果、年間の稼働率は94.32%となっています。月間稼働率98%以上の月は1月でした。

*入院の実績については年間約3.2%であり、長期入院などの影響により前年比1.1%増となり、実人員は18名で1ヶ月あたり平均2.75名の方が入院されたこととなります。

*ご利用者様の退所、入所にかかる空床については2.2%であり、感染症による入所対応の遅れなどによる影響のほか、入退所の調整にかかる相談や情報収集、状況の確認をスムーズに行えるよう、さらに努めていく必要があります。

*空床でのショートステイをご希望されているご利用者様の受入れについては6名(延べ46日)の実績であり、0.25%の稼働となっております。

*入退所の状況は平年並みと考えられますが、長期入院などによる稼働率の低下や、職員の勤務体制の確保の課題や新型コロナウイルスの影響により、入所調整に時間がかかる状況となり実績のような稼働率となっております。

2. 自立支援介護への取り組み

ご利用者様の自立に向けた生活を支援し、基本ケアである「水分」「食事」「排便」「運動」それぞれのケアについて、毎月ご利用者様個々の状態を検討し、ご本人の状態に応じたケアを実践するよう努めました。排泄の支援においては、日中のおむつ使用率は平均12.0%であり、各月の集計においてゼロを達成することはできませんでした。同じく、歩行の取り組みは毎日平均23名の方に対して取り組みを実施し、自身の有する能力を最大限に活用できるよう支援しました。

3. 看取り介護（ターミナルケア）

施設での看取りを希望されるご利用者様やご家族様に対して、医師とも相談の上看取りケアを実施しました。今年度は古座川園で5件の看取り介護を実施し、退所者の38.4%の割合となりました。

看取りケアの取り組みについて、令和2年1月18日に開催した東牟婁振興局による「介護施設における看取りケア研修」の中で古座川園職員が自施設での看取りの取り組みを発表、紹介し、地域にむけて特別養護老人ホームの役割と多職種がチームで連携するケアの在り方を発信しました。

4. 個別処遇・認知症ケアの実践

ご利用者様の要望のひとつであった、機能訓練の実施について、専従の理学療法士を配置し、ご利用者様一人ひとりの状態に応じた機能訓練計画を立て、可能なかぎり身体機能の維持向上を図れるよう取り組みました。個別機能訓練加算も算定し

ております。また、ご利用者様の睡眠の状態が測定できる機器を導入し、夜間の睡眠の状況や、覚醒、離床、その他の状態が把握できるようにしました。今後、使用したデータを活用し、さらに状態に応じたケアの提案ができるように努めてまいります。職員の認知症ケアの専門性向上については、認知症実践者研修に職員が参加して専門性を高めるよう努めています。

5. 身体拘束廃止への取り組み

「身体的拘束適正化委員会」を設置し、毎月身体拘束に該当する事例がないか話し合いを行っております。また、法人の委員会とも連携し、虐待や身体拘束について職員研修を年間2回行い、虐待の起こり得る状況、身体拘束による弊害について理解を深めました。専門職としてプライドを持ち、身体拘束ゼロを達成し、ご利用者様、ご家族様が安心・快適な生活を送ることができるよう努めました。

6. リスクマネジメント

リスクマネジメント委員を中心に、ヒヤリ・ハット報告および事故報告の内容について分析・検討を重ね、事故の再発防止や未然防止に取り組みましたが、前年度より事故件数は45%程の増加の結果となりました。事故の大部分については、皮膚剥離などの軽傷が大部分を占めており、骨折を伴う重症事故は1件でした。センサー機器を使用することでの事故防止の取り組みも継続して行っており、引き続き事故防止の取り組みを高い意識で継続していかなければなりません。

7. 人材育成・研修会等への参加

外部研修では、認知症実践者研修や介護支援専門員の研修会に職員それぞれの役割に応じて参加し、資質向上を図りました。和歌山県老人福祉施設協議会主催の研修会に参加するほか、近畿老人福祉施設研究協議会（滋賀大会）に参加し、昨今の社会情勢の中で、施設としての求められている役割や、制度の改正について学びました。その他、介護施設における看取りケア研修に職員を派遣し、パネリストとしての経験を積んでおります。法人内研修においては、人権研修や災害対応研修など、事業所としての必須の研修を基本として参加するとともに、事業所内研修では、その時に事業所の課題となっている事柄に対するテーマで研修を取り入れ、知識を深めるとともに意識の向上に役立てるように実施しました。今後は、さらに職員の資質向上に向けて、経験年数に応じた個別に研修に積極的に参加していく必要があります。

8. 入所検討委員会の運用

入所の判断基準や手続きを明確化した入所指針にもとづいて、「施設サービスを受ける必要性が高い」と認められる入所申込者を優先的に入所させるよう、入所検討委員会の運用にあたりました。

9. 行事・レクリエーションの実施

法人の各施設との合同行事により、毎月の誕生会を実施し、施設・在宅のご利用者様との交流を図りました。花見会や盆踊り大会、明神小学校との運動会なども例年の行事として参加実施しております。感染症対策の影響により、合同での行事や活動、交流が難しい状況となっており、今後、集団でのクラブ活動やレクリエーションよりも、一人ひとりに適した趣味や余暇活動を通して、生きがいや楽しみを見出すことができるよう、さらに充実した活動を計画していけるように検討していく必要があります。

10. 健康管理

医師による定期的な回診や看護職による健康チェックなどにより、ご利用者様一人ひとりの健康状態を把握し、疾病の予防と早期発見に努めました。また必要に応じて医師の指示により、協力医療機関での専門医療を受けることができました。入院の平均日数は49.1日となっており前年よりも入院日数が長くなっている傾向がありました。

11. 感染症・褥瘡発生の予防

感染症委員会活動を通して、感染症発生予防とまん延防止対応を行いました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、令和2年2月より感染症対策として、面会の中止、職員の健康状態の管理、検温の実施、手洗い、消毒の徹底、地域、事業所間の行事の中止などの対応を行いました。職員に対する研修の実施や日常生活での行動の自粛などを求め、感染予防をおこなっています。衛生用品については、マスクや消毒液の調達が困難になっており、代替用品を活用するなどして対応しています。褥瘡については、褥瘡発生リスクを管理し、発生予防と発生した場合の要因や対策を検討し、医療と介護の連携をはかりながら適切なケアを行いました。

入所利用者実績(令和元年度)

(1) 市町村別入所者数 (令和2年3月31日現在)

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	他府県	合計	H30年度	H29年度
男性	7	4	0	0	0	0	11	14	14
女性	17	13	1	4	0	1	36	36	36
合計	24	17	1	4	0	1	47	50	50
待機者数	13	29	3	1	0	0	46		

(2) 年齢別入所者数 (令和2年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢	H30年度	H29年度
男性	0	2	5	4	0	11	98	97	96
女性	0	1	18	17	0	36	98	98	101
合計	0	3	23	21	0	47	平均88.6	平均88.2	平均87.3

(3) 介護度別入所者数 (令和2年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均	H30年度	H29年度
男性	0	0	6	3	2	11	3.6	3.7	3.7
女性	0	0	5	20	11	36	4.1	3.8	3.8
合計	0	0	11	23	13	47	4.0	3.9	3.8

(4) 入退所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30年度	H29年度
入所	0	1	0	1	1	1	1	1	2	0	1	1	10	11	12
退所	0	2	2	0	1	0	1	0	3	2	0	2	13	11	9

退所者の平均在籍年数	退所者数	平均年齢	介護度	平均在籍年数
R元年度	13	89.2	4.3	3.2
H30年度	11	88.2	4.4	3.9
H29年度	9	90.8	3.8	1.7

(5) 月別延べ入所者数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30年度	H29年度
入所	1459	1450	1414	1460	1452	1456	1521	1398	1385	1448	1361	1411	17,215	1,750	17,548
短期入所	7	0	21	0	0	0	0	0	0	11	6	1	46	73	136
合計	1466	1450	1435	1460	1452	1456	1521	1398	1385	1459	1367	1412	17,261	17,583	17,684
1日平均	48.9	46.8	47.8	47.1	46.8	48.5	49.1	46.6	44.7	47.1	48.8	45.5	47.3	48.2	48.4
稼働率	98	94	96	94	94	97	98	93	89	94	94	91	94.32%		

(6) 身体拘束ゼロへの取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4本ベッド 柵使用	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車イス用 安全ベルト使用	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) ターミナルケア取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	退所者割合
利用者数	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	5	38.4%

(8) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30年度	H29年度
ヒヤリハット	9	7	9	4	5	5	4	3	9	10	9	5	79	136	148
事故報告	1	5	1	7	3	5	1	1	4	4	11	5	48	33	68
苦情受付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0

老人保健施設 あじさい苑

(施 設)

1. 運営方針について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、尊厳の保持と自立支援を目的とし、生活機能向上をめざしたりハビリテーションによる在宅復帰および在宅療養支援、看取りケア、認知症ケアなど、地域の実情に応じたニーズへの対応に努めました。年間延べ利用者数は27,878名(対前年比99.8%)、1日平均利用者数は76.4名、稼働率95.2%(同-0.5%)ですが、在宅復帰支援により介護報酬基本型算定を達成しています。来年度は、地域貢献活動の実施により基本加算型を目指します。

2. リハビリテーションによる在宅復帰支援

生活機能の維持向上を目指す効果的なりハビリテーションを実施し、日常生活動作や精神機能の向上をはかることで在宅復帰支援に取り組みました。また、普段から在宅生活への移行をめざした外泊や外出の支援に努めることで自宅生活再開への自信回復に努めました。年間延べリハビリ実施者数6,660名(対前年比83%)内、短期集中加算リハビリ実施者781名(同44%)、短期入所個別リハビリ加算実施者249名(同94%)とりハビリ強化に努めました。そして、在宅復帰者数は、年間延べ15名(同68%)の自宅生活再開を支援しました。

3. 認知症の人の生活支援

認知症の人の人格を尊重した専門性ある支援を行うことで、症状の緩和に努めました。また、ご利用者様への倫理的配慮、価値観を尊重することの認識を高め、身体拘束等の行動制限行為や不適切なケアをチームで検証しました。

4. ターミナルケアによる看取り介護支援

医師の終末期診断をもとに、ご利用者様またはご家族様の意向を確認し、同意を得た上で、看取り(終末期)介護を実施しました。ご家族様との最期の時間を有意義に過ごせることができるよう、また、死後のご家族様の悲しみや混乱が少しでも軽減できますようグリーフケアにも努めました。年間29名の退所者の内、施設での看取り介護実施者数は7名になっております。

5. 医療の提供

日常の健康や病状管理から、異常の早期発見や対応を行うことで、重症化の防止をはかるとともに、所定疾患(肺炎・尿路感染症など)における治療や緊急時の医療処置など、施設で可能な医療を提供しました。所定疾患療養に係る治療については、

年間延べ 69 名 (治療日数 266 日加算算定) を行いました。医療ニーズに対応するためにも、医療スタッフの確保が喫緊の課題となっています。

6. 感染症、褥瘡発生予防対策の取り組み

感染症または食中毒の予防およびまん延防止対策のため、衛生管理推進員や感染症および褥瘡発生予防対策委員会を通じ、感染予防対策を実施しました。一昨年度の反省を踏まえ、10 月から研修や実習を重ねたことで、職員の意識が高まり、感染症発症を予防することができています。

7. 短期的な利用における在宅療養支援

必要に応じた個別リハビリテーションや介護者のレスパイトなどを目的とした短期入所療養介護サービスを提供することで、在宅生活の継続を支援しました。空床利用も含め、年間 679 日の短期入所療養サービスを提供しました。

8. 設備や福祉用具における快適な環境づくり

ご利用者様の安全、自立支援を促すための福祉用具活用については、積極的に取り組んでまいりましたが、プライバシー空間づくりについては、家具設置の検討を課題としております。また、介護従事スタッフの業務効率化をはかる介護ロボット導入については、次期課題と考えております。

9. 安定したご利用者様の確保

在宅復帰支援により、稼働率は対前年比-0.5%の結果になりましたが、目標は達成しております。来年度は、地域貢献活動の実施により、基本加算型達成を目標に取り組みます。在宅復帰支援の地域理解を深め、よりスムーズな入退所を行います。
(在宅復帰・在宅療養支援等目標)

	目標値	令和元年度年間平均値
在宅復帰率 (前 6 か月)	30%以上	59.7%
ベッド回転率 (前 3 か月)	5%以上	3.78%
入所前後訪問指導割合 (前 3 か月)	30%以上	73.2%
退所前後訪問指導割合 (前 3 か月)	30%以上	93.3%

老人保健施設あじさい苑 令和元年度利用実績

(1) 市町村別入所者数(単位:人)1名短期利用枠 令和2年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	R元年度合計	30年度合計
男性	3	5	1	0	1	0	10	14
女性	24	30	7	2	0	2	65	63
合計	27	35	8	2	1	2	75	77
比率	36.0%	46.7%	10.7%	2.7%	1%	3%	94.9%	97.5%

(2) 年齢別構成(単位:人) 令和2年3月31日現在

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	31年度合計	最高齢	R元年度比率	30年度比率
男性	0	2	4	4	0	10	99	13.3%	18.2%
女性	0	1	24	33	7	65	105	86.7%	84.4%
合計	0	3	28	37	7	75	—	100%	100%

(3) 介護度別構成(単位:人) 令和2年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	31年度合計	R元年度平均介護度	30年度平均介護度
男性	3	1	4	0	2	10	2.70	2.79
女性	12	13	16	15	9	65	2.94	3.01
合計	15	14	20	15	11	75	2.91	2.90

(4) 月別入所者実績(短期利用含む)・定員80名

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元年度合計	30年度合計
月別延人員	2,295	2,335	2,237	2,360	2,416	2,267	2,327	2,189	2,417	2,392	2,249	2,333	27,817	27,949
月平均(人)	76.5	75.3	74.6	76.1	77.9	75.6	75.1	73.0	78.0	77.2	77.6	75.3	76.0	76.6
稼働率(%)	95.6%	94.2%	93.2%	95.2%	97.4%	94.5%	93.8%	91.2%	97.5%	96.5%	96.9%	94.1%	95.0%	95.7%
在宅復帰者数	2	2	0	1	2	1	3	2	1	0	1	0	15	22

(5) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元年度合計	30年度合計
ヒヤリハット報告	106	121	91	77	79	73	77	72	106	109	75	87	1,073	1,158
事故報告	2	5	4	0	12	4	4	5	4	2	1	3	46	50
苦情要望	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	7

(6) 入所待機者数(令和2年3月31日現在)

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	R元年度合計	30年度合計
男性	2	5	2	4	0	0	13	11
女性	3	4	2	4	0	0	13	15
合計	5	9	4	8	0	0	26	26

老人保健施設 あじさい苑

(通所リハビリテーション)

1. 運営方針について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、ご利用者様ができるだけ、居宅において自立生活を継続できるよう生活機能向上を目指したリハビリテーションおよび生活介護支援を提供しました。今年度は、必要に応じた短時間サービス提供にも取り組みました。ご利用者様は、古座川町・那智勝浦町・串本町・太地町の4市町村から、年間延べ利用者数5,825名(対前年比87.9%)、1日の平均利用者数は18.9名と昨年度より1日2.7名減になり、一昨年より4.2名減になっています。今後は、古座川町、串本町を中心にご利用様を積極的に受け入れ、在宅支援として必要なリハビリを提供し、地域ニーズに応えられるよう努めていきます。

2. 意志や人格を尊重した生活支援

ご利用様およびご家族様の意向や希望を尊重し、生活機能の向上をめざした支援を計画的に実施しました。また、ご利用者様一人ひとりの倫理的配慮、価値観を尊重することの認識を深め、職員の言葉使いや態度など、基本的な姿勢をはじめ、不適切な行為の検証を実施しました。

3. リハビリテーションによる在宅生活の継続支援

ご利用者様の在宅生活が長く継続できるよう、一人ひとりに目標を設定し、その目標に沿ったリハビリテーションを実施することで生活機能の維持向上をはかり、自律した社会生活が送れるよう支援しました。また、質の高いリハビリテーションにより、要介護状態から要支援状態に改善される方もおられ、生活機能向上を実現しております。

4. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み

ヒヤリ・ハットや事故報告等をもとに、介護事故の未然防止や重大事故防止に取り組みました。また、日頃からお客様やご家族様からのご意見やご要望を聴く体制を整え、苦情の速やかな対応を行いました。

5. 安定したご利用者様の確保

下半期は古座川町、串本町のご利用者様を中心に新規、利用日の追加を行いました。平均利用者数は1日18.9名と目標には届きませんでした。今後は積極的にお客様を増やし、安定した事業運営をはかってまいります。

老人保健施設あじさい苑デイケア 令和元年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
30年度	126	356	1,626	2,100	1,593	687	136	6,624	61.8%
令和元年度	49	554	1,318	1,650	1,265	737	252	5,825	54.0%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人員	30年度	72	68	69	71	66	67	64	62	65	63	56	61	784	85.4%
	令和元年度	67	70	68	61	61	63	65	63	59	55	62	69	763	97.3%
延べ人員	30年度	622	596	587	591	556	525	595	552	523	452	474	551	6,624	92.5%
	令和元年度	544	538	483	508	480	466	482	494	443	397	461	529	5,825	87.9%

(3) 利用者平均介護度

平均介護度	30年度	2.18
	令和元年度	2.27

※要支援1は0.5換算

(4) 年間営業日数

年間営業日数	30年度	306
	令和元年度	308

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

令和2年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	その他	令和元年度合計
男性	9	18	0	0	0	27
女性	17	25	2	1	0	45
合計	26	43	2	1	0	72

30年度
26
47
73

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和2年3月31日現在

65歳まで	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
1	0	4	7	9	21	26	4	72

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度合計	30年度合計
ヒヤリハット報告	4	3	6	3	3	3	1	8	7	3	3	3	47	50
事故報告	0	0	0	1	0	1	2	2	0	2	0	0	8	1
合計	4	3	6	4	3	4	3	10	7	5	3	3	55	51

短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川

1. 運営について

法人理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、ご利用者様の意思や人格を尊重し、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう取り組んできました。

今後も、ご利用者様が持つ能力を活かし、役割や生きがいを見つけながら、自立した生活を営めるよう要介護状態の維持・改善を目的とし計画的に短期入所生活介護サービスを提供し、ご家族様や地域とのつながりや関係を大切にしながらご利用者様本位の支援を目指してまいります。

介護保険制度による利用者は、年間延 8,685 名、加えて古座川町委託による要介護者等短期入所事業を行い、これらの利用者を合計すると、年間延利用者は 8738 名で、1ヶ月の利用者は 728 名、1日平均 23.9 名でした。

市町村別の実績では、古座川町 40.7%、串本町 39.4%、太地町 11.8%、那智勝浦町 7.7%でした。また介護度別では、要介護 3 が 36.6%、要介護 4 が 22.2%で、全体の約 6 割を占めていました。

2. 処遇について

日常生活

朝の体操をはじめ、ADL ゲームなどへの参加や声かけあるいは誘導などを行い、ご利用者様の心身機能の維持に努めました。また、法人の各施設との合同行事などにより、ご利用者様相互の交流をはかりました。

健康管理

看護職員による健康チェックにより、健康状態の把握と疾病などの早期発見に努めました。また、病状などの変化・要望に対してご利用者様および主治医と連携し、ご利用者様が安心かつ快適に過ごすことができるよう取り組みました。

食生活

ご利用者様のご要望や検食による職員の意見を反映させた献立により、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、ご利用者様の心身の状況や嚥下状態に応じた食事の提供に努めました。

入浴

週 2 回の定期入浴と週 1 回の随時入浴により、一般浴槽と機械浴槽を使用して、ご利用者様の身体状況にあった入浴を提供しました。

排せつ

ご利用者様の希望や心身の状態に応じて、トイレあるいはポータブルトイレを使用し、声かけ・誘導などの介助を行いました。またおむつを使用されているご利用者様については、定時交換および随時交換をしました。

3. 意志や人格を尊重した生活支援

ご利用者様・ご家族様の思いや要望を尊重し、身体・心理、社会的側面から支援の必要性を導き出しながら自立度が向上できるよう、計画的な生活支援を実施しました。退所時には、ご利用者様の生活状況や身体状況について、「生活メモ」によりご家族様に報告し、退所後の自宅生活につながるようサポートを行いました。

4. 研修体制の充実

全体研修に事業所からは役割や経験に応じて職員が参加し、処遇会議時などに事業所内で伝達研修を行い、また、事業所内研修も適時行うことにより、職員の資質向上に努めました。

5. 身体的拘束等の適正化・高齢者虐待防止

身体的拘束等の適正化のための指針の遵守に努め、ご利用者様の尊厳を守るために、不要な行動制限をしないよう事業所内研修などで周知徹底をはかりました。

また、委員会活動や研修を通して、身体的拘束等の行為が高齢者虐待につながりやすいことの理解を深め、虐待防止対策についての知識向上に努めました。

6. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み

「リスクマネジメント委員会」を設置し、「ヒヤリハット報告書」・「事故報告書」をもとに事例検討を行うとともに、ご利用者様の心身の状態や取り巻く環境を十分に把握し、職員間で情報を共有することにより、再発の防止に取り組みました。

また、「苦情申し出窓口」を設置するとともに、苦情受付担当者を配置し、苦情が発生した場合には「苦情解決要綱」にしたがい、積極的かつ速やかに対処し、サービスの向上に努めました。

7. 感染症の発生予防とまん延予防対策

感染症委員会の活動を通して、感染症発生予防とまん延防止対応を迅速に行いました。また、職員に対し専門職からの指導や研修を通じて感染症に対する知識の習得をはかり、その予防に努めました。

8. 交流行事・地域との連携

他事業所や地域の方々との交流行事により、施設・在宅のご利用者様や地域の方々との交流を促進し、地域に開かれた事業所運営を行って参りました。

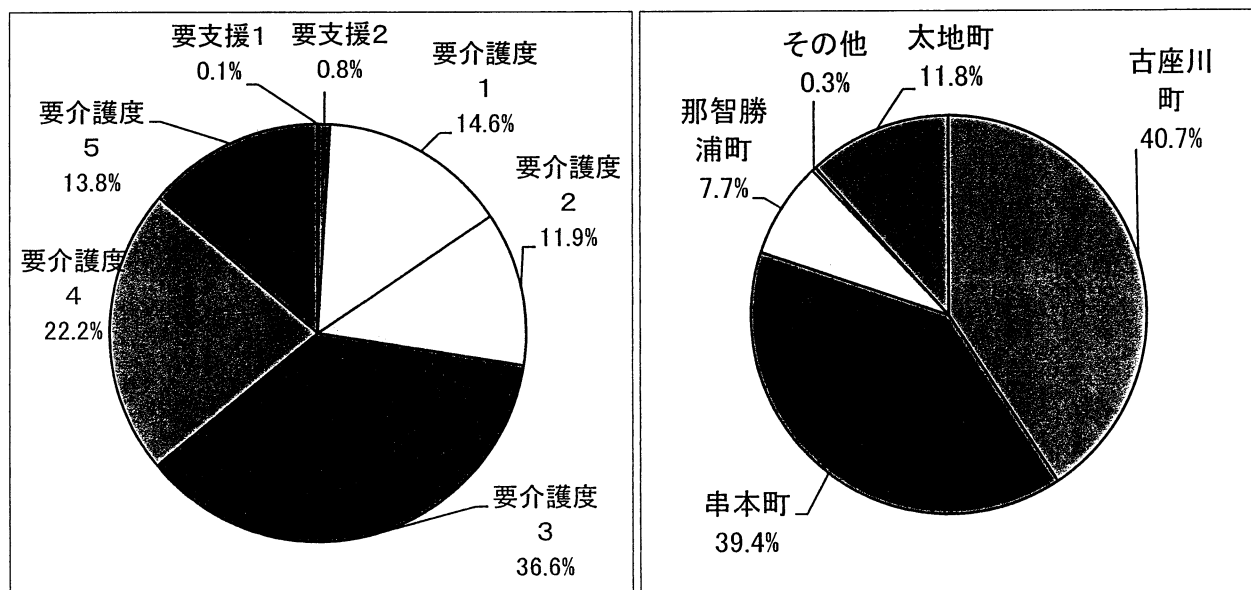
また、居宅介護支援事業所との密な連携の継続および緊急ショートへの柔軟な対応を行い、月間の平均稼働率は95.8%の高稼働となりました。今後も、安心してご利用いただけるサービスの質を確保し、皆様の要望に応えられるよう努めます。

令和元年度短期入所施設 実績

1. 介護保険サービス

要介護度別	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
件数	10	73	1270	1034	3178	1925	1195
	合計						8685

市町村別	古座川町	串本町	那智勝浦町	その他	太地町	新宮市	合計
件数	3538	3424	673	29	1021	0	8685



2. その他

町単事業(古座川町)
53

3. 令和元年度実績計

総実績	1日平均	稼働率
8738	23.9	95.8%

高瀬会訪問介護ステーション

1. 運営について

ご利用様が住み慣れた居宅において、有する能力に応じて自立した日常生活が送れるよう、身体の介護および生活全般にわたる家事などを適切に実施しました。

事業所が地域社会の一員であることを自覚し、地域の皆様、ご利用様ならびにご家族様から信頼されるよう相談・助言にも関わり事業の運営につとめました。

2. サービスの実施状況

- (1) 居宅(介護予防)サービス計画書に沿い個別援助計画を作成し法令などを遵守しご利用様やご家族様のご要望に応じたサービス提供につとめました。
- (2) サービス提供にあたっては、ご利用様の意思および人格を尊重し、常にご利用様の立場に立った支援を心がけました。
- (3) 地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、その他の福祉・医療保健サービス事業者との連携にもつとめ、サービス担当者会議へも積極的に参加しました。
- (4) 各訪問介護職員それぞれが専門職としての責任感と誇りを持ち、ご利用様にきめ細かなサービスを提供できるよう情報の収集につとめました。
- (5) 単にサービスを提供するだけでなく、コミュニケーションをとりながら生活の質の向上(QOL)につとめました。

3. サービス内容について

- (1) 入浴の介助や身体の清拭、おむつ交換や更衣介助など、身体介護をご利用様の負担を少なく適切に行い、不自由なお体でも清潔に保てるよう支援しました。
- (2) 掃除・洗濯・炊事・買い物などの家事全般を適切に援助して、ご利用様やご家族様の負担が軽減できるようつとめました。
- (3) ご利用者様やご家族様の身近な相談相手として、介護に関することや生活状況について関係機関などとも連携して適切に指導・助言しました。

4. 訪問介護員としての質の向上

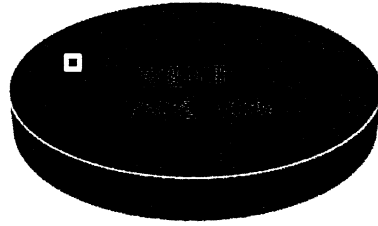
地域での研修や医療・介護に関わる講演などへ積極的に参加し、訪問介護員としての質の向上につとめ、事業内容の改善にもつなげました。

各訪問介護員には随時研修の機会を設け、介護技術や感染対策の技術指導ならびに社会人としてのマナー研修などを実施し、質の高い訪問介護員となれるよう育成しました。

5. 苦情・要望への対応

幸い大きな苦情ととらえる事例もなく、ご利用様やご家族様からの要望にたいしてはケアマネージャーや各関係機関などとも協力を仰ぎ、迅速かつ適切に対応し一年間事業ができました。

令和01年度 利用者数統計 (延べ)



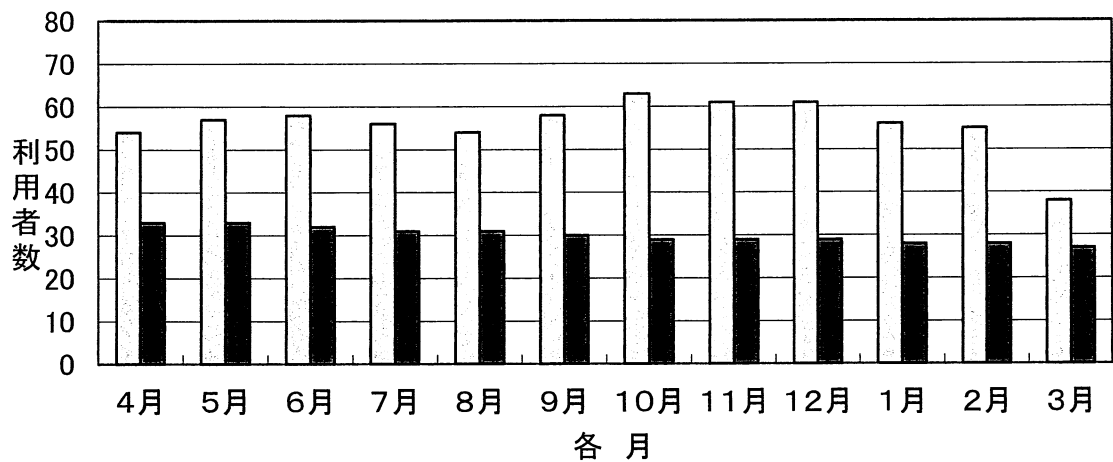
■ 1

令和01年度利用者数 統計

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	4	3	14	6	2	1	1	33
5月	1	5	3	13	7	2	1	1	33
6月	1	5	3	12	6	2	2	1	32
7月	1	5	3	11	6	2	2	1	31
8月	1	6	3	10	6	2	2	1	31
9月	1	6	3	11	4	1	2	2	30
10月	1	6	3	12	3	0	2	2	29
11月	1	6	3	12	3	0	2	2	29
12月	1	6	3	11	3	0	3	2	29
1月	1	6	3	10	4	0	2	2	28
2月	1	6	2	10	4	2	1	2	28
3月	1	5	2	11	4	2	1	1	27
合計	13	66	34	137	56	15	21	18	360

前年度対比 月別利用者数

□30年度 ■01年度



高瀬会デイサービスセンター

1. 運営について

法人理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」のため、介護予防・機能訓練の充実、サービスの質の確保と向上に取り組みました。

2. 処遇について

食 事

ご利用者様の心身の状況や嗜好を考慮した食事の提供に努めました。

入 浴

一般浴槽・機械浴槽を使用し、定期的な入浴により、ご利用者様の身体状態に合った入浴を提供しました。

排せつ

ご利用者様の排せつ能力に応じて、排せつ介助(声かけ・誘導・おむつ交換など)を行いました。

アクティビティ

ご利用者様のニーズ・趣味・特技などを把握したうえで、通所介護サービス計画にもとづき、レクリエーションなどを実施しました。

機能訓練

ご利用者様の心身状況に応じて、日常生活を送るのに必要な機能の維持・向上を目指し、主として集団による機能訓練を行いました。

ご家族様との連携

ご利用者様の生活状況や身体状況を記した連絡帳を提供し、ご家族様との連携に努めました。

通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりの心身の状態・希望・環境などを踏まえたうえで、介護サービスの目標を設定し、作成された通所介護サービス計画にもとづき、サービスを提供しました。

居宅介護支援事業所との連携

ご利用者様の利用状況や生活の変化などについて、ケアマネージャーや関係機関に随時報告し、相互に連携をはかりました。

高瀬会デイサービスセンター 令和元年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	通所型	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
H30年度	381	137	325	1,515	970	565	408	0	4,301	69.6%
R元年度	344	193	96	1,864	743	283	318	41	3,882	62.8%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人数	H30年度	59	56	57	55	52	55	55	53	54	53	51	51	651	
	令和元年度	54	54	53	51	51	49	52	50	47	48	46	40	595	
延べ人数	H30年度	418	419	390	388	360	336	385	363	342	273	298	329	4,301	
	令和元年度	350	353	327	345	332	319	342	335	296	304	296	283	3,882	

(3) 利用者平均介護度

平均	H30年度	1.5
介護度	令和元年度	1.7

※要支援者も含む

(4) 年間営業日数

年間	H30年度	309
営業日数	令和元年度	309

(5) 登録利用者数 (単位:人)

令和2年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	令和元年度合計	H30年度合計
男性	9	5	0	14	16
女性	24	7	0	31	49
合計	33	12	0	45	65

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和2年3月31日現在

65歳まで	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
0	0	4	1	5	13	13	9	45

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度合計	H30年度合計
ヒヤリハット報告	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	4	5
事故報告	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	5	1
合計	2	1	1	0	0	1	0	1	0	1	2	0	9	6

グループホーム もみの樹

1. 役割を持って、安心できる暮らしへ

認知症があっても、ご利用者様が自ら力を発揮し、住み慣れた地域の中で幸せに暮らすことを目指し、ご利用者様一人ひとりが得意な事や好きな事で役割を持ち、また、ご家族様や地域との関係の中でも役割を持ち続けられる様に支援を行いました。

2. 身体的拘束等の適正化への取り組み

身体的拘束等の適正化をはかるため「身体的拘束等適正化委員会」を設置し、定期的な委員会の開催と職員への研修を実施しました。

3. 開かれたホームを目指して

ご家族様や地域の方々に気軽に訪問していただくとともに、認知症カフェ、地域の食事会、祭りなどの地域行事への参加や、保育園児・小学生との交流会を積極的に行い、地域に根ざした活動ができるよう支援を行いました。

4. 介護サービス情報の公表と自己評価

地域の方々に選んでいただける施設になるよう、標準化された介護サービス情報の公表を行いました。また、自己評価にて提供するサービスの質の評価を自ら行いました。

5. 運営推進会議を活かした取り組み

ケアの質の向上および地域に開かれた事業運営を行うため、ご家族様や地域の人々などから構成される運営推進会議(協議会)を年間6回開催し、事業活動状況の報告などを行うとともに、評価・要望・助言を得るよう努めました。

6. 稼働率の安定

ご利用者様の健康管理と適切なケアの提供により、ご利用者様が入院せずに健康的な日常生活が送れるよう支援しました。

グループホーム もみの樹 令和元年度利用者実績

(1) 市町村別利用者数 (令和2年3月31日現在)

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計
男性	0	0	0	0	0
女性	4	0	0	5	9
合計	4	0	0	5	9
割合	44.4%	0.0%	0.0%	55.6%	100.0%

30年度
0
9
9
100.0%

(2) 年齢別利用者数 (令和2年3月31日現在)

	69歳以下	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上	合計	最高齢
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	1	1	4	2	1	9	101
合計	1	1	4	2	1	9	平均86.8

30年度
0
102
平均87.4

(3) 介護度別利用者数 (令和2年3月31日現在)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	0	0	0	0	0	0	0.0
女性	0	1	2	5	1	0	9	2.7
合計	0	1	2	5	1	0	9	2.7

30年度
0.0
2.8
2.8

(4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	270	279	269	248	271	270	279	270	279	272	261	279	3247
実員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
稼働率	100	100	99.6	88.9	97.1	100	100	100	100	97.5	100	100	98.6

30年度
3253
99.0%

(5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット報告	8	9	23	10	12	19	17	8	12	7	12	8	145
事故報告	2	1	0	1	1	0	1	1	2	1	0	3	13

30年度
64
15

(6) 入居待機者数 (令和2年3月31日現在)

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計
男性	1	0	1	2	4
女性	1	0	1	1	3
合計	2	0	2	3	7

30年度
2
3
5

軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷

1. 運営方針について

介護が必要になっても、ご本人の意志や人格を尊重し、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう取り組んできました。また、ご利用者様中心のケアについての理解を深めながら、事業所全体として共通認識を持つことができるようにしました。ご本人自身が持つ能力を活かし、役割や生きがいを見つけながら、個別性を尊重した暮らしを築けるよう支援しました。今後も、なるべく自立した生活を営み、生活の質を向上させることを目的とし、計画的に施設サービスを提供し、ご家族様や地域とのつながりや関係を大切にしながらご利用者様本位の支援を目指しました。

2. ユニットにおける個別ケアの取り組み

ご利用者様一人ひとりの「その人らしさ」を大切に、個別ケアの実現のために、家庭的な雰囲気となじみの関係の中で、ユニットケアの推進に努めてまいりました。また、看取りについても、ご利用者様、ご家族様のご希望がありましたら医療機関と連携をとりながら、柔軟に対応しました。

3. 安定的な収入源の確保

ご利用者様の健康を維持できるよう、医療機関と連携を取りながら健康管理に努めました。また、空床ベッドの有効利用を促進し、ショートステイの受け入れを行いました。

4. 非常災害及び緊急時の対応と事故防止対策

非常災害時には、迅速・適切に対応できる緊急連絡体制を整備し、市町村や地域との応援体制や情報交換を運営推進会議などで行い、対応について検討を重ねました。また、ヒヤリハット報告や事故報告書等による検討を行い、事故や感染症などの、まん延を防止できる取り組みを行い、安全な生活が送れるように努めました。

5. 身体的拘束等の適正化と尊厳の保持

身体的拘束等適正化委員会を中心に、身体的拘束等について研修を重ねて理解を深めてまいりました。ならびに、日頃からご利用者様やご家族様への対応や言動を振り返る機会をもち、「個人の価値」を大切にできるケアを目指しました。また、ご利用者様の尊厳を守るため、身体的拘束などの行動を制限するケアは、行っておりません。

6. 苦情要望への対応

面会やお便りなどで、日頃のご利用者様の生活の様子を報告し、ご利用者様やご家族様からご意見やご要望を聴かせていただける体制を整えてきました。また、苦情やご要望が発生した場合は、速やかな対応に心がけ、いつでも心地よくサービスを受けることができるように体制づくりに努めました。

7. 地域の一員としての生活支援

ご家族様やボランティアの受け入れ、地域行事などの参加により、地域の方との交流や触れ合いの機会を多く持っています。また、出来るだけ、お客様一人ひとりの思いや望みを反映しながら、地域の馴染みの場所に出かけるなどの支援に心がけてきました。

8. 人材の育成、確保

職員同士でコミュニケーションを深め、何でも相談できる関係性を構築できるように努めました。事業所内では積極的に研修を開催し、知識を深め、専門性が向上することを目指しました。

軽費老人ホーム ケアハウス「湯ごりの郷」令和元年度利用者実績

(1) 市町村別構成(令和2年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町		合計
男性	4	0	0	0	0		4
女性	19	2	0	1	0		22
合計	23	2	0	1	0		26

(2) 年齢別構成(令和2年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	1	0	2	1	0	4
女性	0	1	1	17	3	22
合計	1	1	3	18	3	26

(3) 介護度別構成(令和2年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	1	0	2	1	4
女性	3	7	2	5	5	22
合計	3	8	2	7	6	26

(4) 月別入所者数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度 合計
延利用者数	847	894	839	884	875	857	824	764	815	805	735	809	9,948
稼働率%	97.4%	99.4%	96.4%	98.3%	97.3%	98.5%	91.7%	87.8%	90.7%	89.5%	90.5%	90.0%	93.97%
一日当たり平均	28.2	28.8	28.0	28.5	28.2	28.6	26.6	25.5	26.3	26.0	26.3	26.1	27.25
短期利用	16	0	2	2	5	0	5	0	8	4	8	36	86
入居者数	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	5
退去者数	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	2	2	9

(5) リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度 合計
事故報告	4	6	3	5	9	4	4	6	6	7	5	6	65

(6) 入所待機者数(令和2年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町	合計
男性	14	8	4	4	0	30
女性	20	5	9	3	1	38
合計	34	13	13	7	1	68

グループホーム 湯ごりの郷

1. 個別ケアの推進

ご利用者様一人ひとりが、日常生活の中で役割を持ちながら、ホームでの生活を過ごしていただけるように調理や食器洗い、洗濯物の整理に職員と一緒に取り組んでいただけるよう支援しました。お客様の状態に応じ、週1回のカンファレンスを通して、水分・食事・排せつ・歩行ケアをスタッフ全員が適切に取り組めるよう心掛けてきました。自然な排便をサポートすることで健康的で安定した生活につながることができました。

2. 地域との連携と行事への参加

地域の行事に参加し、地域との交流や接点を持ちながら生活できるように支援しました。地域連携を強化するという視点から、認知症カフェの開催、ボランティアの受け入れなど、より地域との連携と交流をあわせておこなうことができました。外食の企画では、普段よりたくさん食べていただくなど、大変喜んでいただくことができました。運営推進会議は計画通り、年6回実施し活動状況の報告を行いました。

3. 医療連携体制・看取り介護の強化

訪問看護ステーション・医療機関との連携により、ご利用者様の健康管理や身体の状態をより綿密に相談することで、健康管理をおこないました。ご利用者様の状態や情報をご家族様と共有し、終末期の過ごし方を寄り添いながら考える機会をつくりました。何度も繰り返し検討をおこなうことで、後悔なくお見送りできるようサポートし、その人らしく穏やかに過ごしてもらう看取りの達成にむけ、ご利用者様を中心に看取り介護をおこないました。

4. 人材育成・確保の強化

理念を共有し虐待は、許されることではないことを職業倫理に照らしあわすなどの学習をおこないました。自立支援介護の基本的な4つのケアの知識を深めることから、排せつの場面では、下剤を中止し、腸内環境の改善からの取り組みなどにより自然な排便を促すことができました。感染症対策については、標準予防策を再徹底し、職員は、感染症にかからない。施設に持ち込まない。を目標に取り組み感染症による発症なく過ごすことができました。こうした事業所内研修において、知識を理解し、実践することで、具体的な成果をあげ達成できた喜びを職員一人ひとりの「働きがい」とし、高瀬会で働く職員としての喜びを追求しました。

グループホーム 湯ごりの郷 令和元年度利用者実績

(1) 市町村別利用者数（令和2年3月31日現在）

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計
男性	1	1	0	0	2
女性	13	2	0	1	16
合計	14	3	0	1	18
割合	77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	100.0%

30年度
3
15
18
100.0%

(2) 年齢別利用者数（令和2年3月31日現在）

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢
男性	0	0	0	2	0	2	94
女性	2	0	3	10	1	16	101
合計	2	0	3	12	1	18	平均89.7

30年度
93
100
平均89.9

(3) 介護度別利用者数（令和2年3月31日現在）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	0	0	1	1	0	2	3.5
女性	0	0	2	7	4	3	16	3.5
合計	0	0	2	8	5	3	18	3.5

30年度
3.0
3.1
3.1

(4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	539	557	500	537	535	525	519	540	554	512	495	549	6362
実員	18	18	18	19	19	19	22	18	19	18	19	18	
稼働率	99.8	99.8	92.6	96.2	95.9	97.2	93	100	99.3	91.3	98.2	98.4	96.57%

30年度
6535
99.47%

(5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット報告	2	4	5	6	7	4	5	3	2	9	11	7	65
事故報告	0	1	2	1	2	0	0	0	1	0	2	3	12

30年度
67
17

(6) 入居待機者数（令和2年3月31日現在）

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計
男性	3	4	0	2	9
女性	3	0	0	1	4
合計	6	4	0	3	13

30年度
9
9
18

小規模多機能ハウス 湯ごりの郷

1. 運営方針について

介護や支援が必要な状態になっても、ご利用様が今までに築いてきたご家族様や地域との関係を大切に、住み慣れた地域で今までと変わらない暮らしが続けられるよう取り組んできました。また、馴染みの関係や場所で、認知症があっても仲間と一緒に安心ある生活ができるよう、そして、ご利用様の思いや望み、心身の状況などに応じて「通い」・「泊まり」・「訪問」を柔軟に組み合わせ、365日24時間切れ目のない支援でお客様の安心ある暮らしを目指して取り組みました。

2. 「地域の中でいつまでも笑顔で過ごせるように」に基づいた支援

事業所理念を目指し、ご利用様一人ひとりの気持ちに向き合い、思いやの望み、心身の状況や環境を理解し、ご利用様が大切にしてきたものを一緒に大切にしながら、地域での暮らしを継続できるようにご利用様本位の支援に努めました。

3. 柔軟で一体的、継続的な支援

ご利用様に、「通い」「泊まり」「訪問」サービスを提供しながら、できる限り自宅での暮らしを継続できるよう支援してまいりました。また、重度の医療、介護が必要な方には、医療機関や施設、在宅サービスを紹介してお客様にあったサービスが受けられるように支援いたしました。

また、電話での見守り、緊急時の相談や訪問を行い、ご利用様が、地域の中で安心して過ごせるように支援いたしました。

4. 身体的拘束の廃止と尊厳の保持

ご利用様の尊厳を守るため、身体的拘束などの行動を制限する行為は、行っておりません。また日頃から委員会活動を通じ、ご利用様やご家族様への対応や言動を振り返る機会を持ち、「個人の価値」を大切にできるケアを目指しました。

5. 非常災害及び緊急時の対応と事故防止対策

非常災害時には、迅速・適切に対応できる緊急連絡体制を整備し、市町村や地域との応援体制や情報交換を運営推進会議等で行い、対応について検討を重ねました。

また、ヒヤリハット報告や事故報告書による検討を行い、大きな事故や感染症等のまん延を防止できる取り組みを行い、安全な生活が送れるように努めました。

6. 地域で暮らし続けることの支援

ご家族様やボランティアの受け入れ、地域行事等の参加により、地域の方との交流や触れ合いの機会を多く持っています。また、積極的に外出し、見慣れた景色や馴染みの場所を大切に、地域に密着した暮らしができる支援に心がけました。

小規模多機能ハウス「湯ごりの郷」 令和元年度利用者実績

(1) 市町村別構成(令和2年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	合計
男性	4	3	7
女性	11	2	13
合計	15	5	20
割合	75%	25%	

(2) 年齢別構成(令和2年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	1		3	3		7
女性			6	7		13
合計	1	0	9	10	0	20

(3) 介護度別構成(令和2年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	3		2			5	1.8
女性	5	3	2	1	1	12	2.2
合計	8	3	4	1	1	17	2.0

	要支援1	要支援2	合計
男性	1	1	2
女性		1	1
合計	1	2	3

(4) 月別利用者数(月末時)

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	元年度合計
通い	365	357	366	408	391	380	413	357	367	356	338	325	4,423
泊まり	263	224	232	260	260	257	294	224	237	226	222	203	2,902
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	628	581	598	668	651	637	707	581	604	582	560	528	7,325
登録者数	20	19	20	21	20	20	20	20	19	20	21	18	238

(5) リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	元年度合計
事故報告	1	2	3	0	0	1	2	2	1	1	2	0	15

デイサービスセンター 湯ごりの郷

1. 運営について

認知症で要介護状態になられたご利用者様が、できるかぎり居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、生活支援、機能訓練やレスパイト機能を活用することにより、ご家族様の身体的・精神的負担の軽減をはかるよう努めました。

2. 生活支援について

食 事

食事についてのアセスメントや嗜好アンケートを実施し、心身の状況や嗜好考慮した、食事の提供に努めました。

入 浴

一般浴槽（個別欲）を使用し、家庭的な雰囲気の中で安全で安心して入浴できるよう、先進・着脱・移動などの介助を行いました。

排せつ

ご利用者様の排せつ能力に応じた、排せつ介助（声かけ・誘導・一部介助など）を行いました。

アクティビティ

ご利用者様のニーズ・趣味・特技などを把握したうえで、通所介護サービス計画にもとづき、レクリエーションなどを実施しました。

機能訓練

ご利用者様の身体能力に合わせ、体操・歩行訓練・外出行事などを実施し、身体機能の維持や精神の安定をはかりました。

認知症ケア

認知症の専門的知識を習得し、実践でいかせられるようサポート体制を強化しました。穏やかに過ごせる空間の確保から利用回数増につながりました。

ご家族様との連携

ご利用者様の生活状況や身体状況を記した連絡帳を用いて、ご家族様との連携に努めました。

通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりの心身の状態・希望・環境などを踏まえたうえで、介護サービスの目標を設定し、作成された通所介護サービス計画にもとづき、サービスを提供しました。

居宅介護支援事業所との連携

ご利用者様の利用状況や生活の変化などについて、ケアマネジャーや関係機関に随時報告し、相互に連携をはかりました。

デイサービスセンター「湯ごりの郷」

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	稼働率(%)
30年度	0	0	859	765	465	68	316	2473	67
令和元年度	78	0	382	693	414	113	137	1817	49

(2) 実人員・延べ人員

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年比(%)
実人員	30年度	24	22	22	22	23	21	22	21	22	20	20	18	257	
	令和元年度	18	17	19	19	20	23	20	22	22	23	23	25	251	97
延べ人員	30年度	216	213	233	223	230	190	205	215	218	185	179	166	2473	
	令和元年度	144	141	138	158	161	143	140	160	140	149	143	200	1817	73

(3) 利用者平均介護度

平均要介護度	30年度	2.28
	令和元年度	2.28

(4) 年間営業日数

年間営業日数	30年度	308
	令和元年度	309

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人) 令和2年3月31日

	那智勝浦町	太地町	令和元年度合計	30年度合計
男	2	6	8	5
女	8	9	17	13
合 計	10	15	25	18

(6) 年齢別登録利用者数(単位:人)

令和2年3月31日

~65歳	65歳~69	70歳~74	75歳~79	80歳~84	85歳~89	90歳~94	95歳~	合 計
0	0	2	1	3	6	10	3	25

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告状況

分 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	30年度
ヒヤリハット(件)	1	1	1	0	2	3	1	2	0	2	2	2	17	11
事故報告 (件)	0	0	2	0	1	0	1	1	2	0	0	0	7	6
合 計 (件)	1	1	3	0	3	3	2	3	2	2	2	2	24	17

ふれあいサロン ゆかし庵

<介護予防通所介護・通所介護>

1. 運営について

通所介護や要支援と認定されたご利用者様や日常生活になんらかの支障をきたしているご利用者様が、できるかぎり居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、生活支援や機能訓練などを行いました。

2. 処遇について

食 事

ご利用者様の心身の状況や嗜好を考慮した、食事の提供に努めました。

入 浴

一般浴槽を使用し、安全に入浴できるよう、洗身・着脱・移動の見守りや一部介助を行いました。

排せつ

ご利用者様の排せつ能力に応じた、排せつ介助（声かけ・誘導など）を行いました。

アクティビティ

ご利用者様のニーズ・趣味・特技などを把握したうえで、通所介護サービス計画にもとづき、アクティビティを実施しました。

機能訓練

ご利用者様の身体能力にあわせて、パワーリハビリテーションや体操などを実施しました。

ご家族様との連携

ご利用者様の生活状況や身体状況を記した連絡帳を用いて、ご家族様との連携に努めました。

介護予防通所介護・通所介護サービス計画の作成

ご利用者様1人ひとりのADL（日常生活動作）能力に応じた、介護予防通所介護サービス計画を作成し、適切なサービスを提供しました。

地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携

ご利用者様の利用状況や生活の変化などについて、ケアマネージャーに随時報告し、相互に連携をはかりました。

＜閉じこもり予防事業＞（那智勝浦町介護予防事業）

1. 運営について

家庭に閉じこもりがちなお利用者様に対して、閉じこもりの原因となる身体的・心理的・社会的環境要因を踏まえて、通所サービスによる支援を行うとともに、社会交流につながるような、きっかけ作りの場を積極的に提供しました。

2. 処遇について

- (1) ご利用者様一人ひとりの血圧・脈拍測定を行い、健康管理に努めました。
- (2) 社会との交流が積極的にできるよう、創作活動・脳トレーニングなどの共通の活動やレクリエーションを行いました。

＜生活支援事業＞・＜生活機能改善事業＞（那智勝浦町任意事業）

1. 運営について

生活支援やリハビリテーションなどが必要なご利用者様に対して、その原因となる身体的・心理的・社会的環境要因を踏まえて、通所サービスによる支援を行うとともに、介護予防サービスの給付費などの適正化ならびにご利用者様の経済的負担の軽減をはかりました。

2. 処遇について

介護予防通所介護事業と通所介護事業、同様です。

ふれあいサロン「ゆかし庵」 令和元年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
30年度	234	294	600	407	21	40	0	1,596	57.0%
令和元年度	355	376	429	337	77	52	8	1,634	58.0%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人員	30年度	24	24	24	23	22	21	22	22	24	23	22	22	273	108.0%
	令和元年度	22	22	22	24	25	24	25	27	26	25	25	30	297	109.0%
延べ人員	30年度	132	148	152	141	129	125	125	134	129	136	118	127	1,596	105.0%
	令和元年度	140	146	129	145	129	129	136	137	130	134	122	157	1,634	102.0%

(3) 利用者平均介護度

平均	30年度	2.2
介護度	令和元年度	2.9

(4) 年間営業日数

年間	30年度	156
営業日数	令和元年度	155

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

令和2年3月31日現在

	那智勝浦町	太地町	令和元年度合計	30年度合計
男	5	1	6	3
女	28	1	29	19
合計	33	2	35	22

(6) 年齢別登録利用者数(単位:人)

令和2年3月31日現在

~65歳	65歳~70	70歳~75	75歳~80	80歳~85	85歳~90	90歳~95	95歳~	合計
0	0	1	2	5	10	12	5	22

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度合計	30年度合計
ヒヤリハット報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

<閉じこもり予防事業>

年間延利用者数

町名	利用者数(人)
那智勝浦町	509

<生活支援事業>

年間延利用者数

町名	利用者数(人)
那智勝浦町	0

<生活機能改善>

年間延利用者数

町名	利用者数(人)
那智勝浦町	51

高瀬会第2訪問介護ステーション

1. 運営について

ご利用様が住み慣れた居宅において、有する能力に応じて自立した日常生活が送れるよう、身体の介護および生活全般にわたる家事などを適切に実施しました。

事業所が地域社会の一員であることを自覚し、地域の皆様、ご利用様ならびにご家族様から信頼されるよう相談・助言にも関わり事業の運営につとめました。

2. サービスの実施状況

- (1) 居宅（介護予防）サービス計画書にもとづき、個別援助計画を作成してご利用者様やご家族様のご要望に応じたサービス提供につとめました。
- (2) サービス提供にあたっては、ご利用者様の意思および人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立った支援を心がけました。
- (3) 地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、その他の福祉・医療保健サービス事業者との連携にもつとめ、サービス担当者会議へも積極的に参加しました。
- (4) 各訪問介護員それぞれが専門職としての責任感と誇りを持ち、ご利用者様にきめ細かなサービスを提供できるよう情報の収集につとめました。
- (5) 単にサービスを提供するだけではなく、コミュニケーションをとりながら生活の質の向上（QOL）につとめました。

3. サービス内容について

- (1) 入浴の介助や身体の清拭、オムツ交換や更衣介助など、身体介護をご利用者様の負担を少なく適切に行い、不自由なお体でも清潔に保てるよう支援しました。
- (2) 掃除・洗濯・炊事・買い物などの家事全般を適切に援助して、ご利用者様やご家族様の負担が軽減できるようつとめました。
- (3) ご利用者様やご家族様の身近な相談相手として、介護に関することや生活状況について関係機関などとも連携して適切に指導・助言しました。

4. 訪問介護員としての資質の向上

地域での研修や医療・介護に関わる講演などへ積極的に参加し、訪問介護員としての資質向上につとめ、業務内容の改善にもつなげました。

各訪問介護員には随時研修の機会を設け、介護技術や感染症対策の技術指導ならびに社会人としてのマナー研修などを実施し、質の高い訪問介護員となれるよう育成しました。

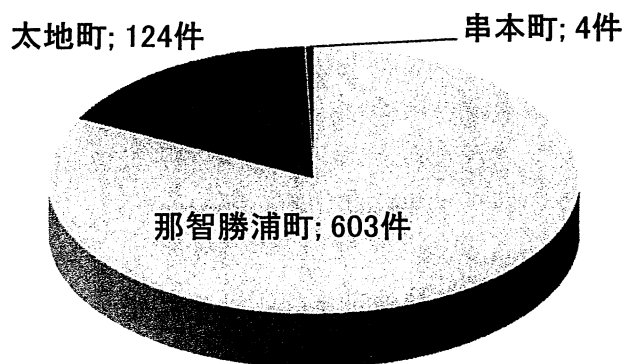
5. 苦情・要望への対応

ご利用者様やご家族様からの苦情・要望に対して、早期に解決できるようケアマネージャーや関係機関などにも協力を仰ぎ、迅速かつ適切に対応しました。

幸い大きな苦情ととらえる事例もなく、一年間事業が運営できました。

令和1年度 第2訪問介護ステーション実績(統計)

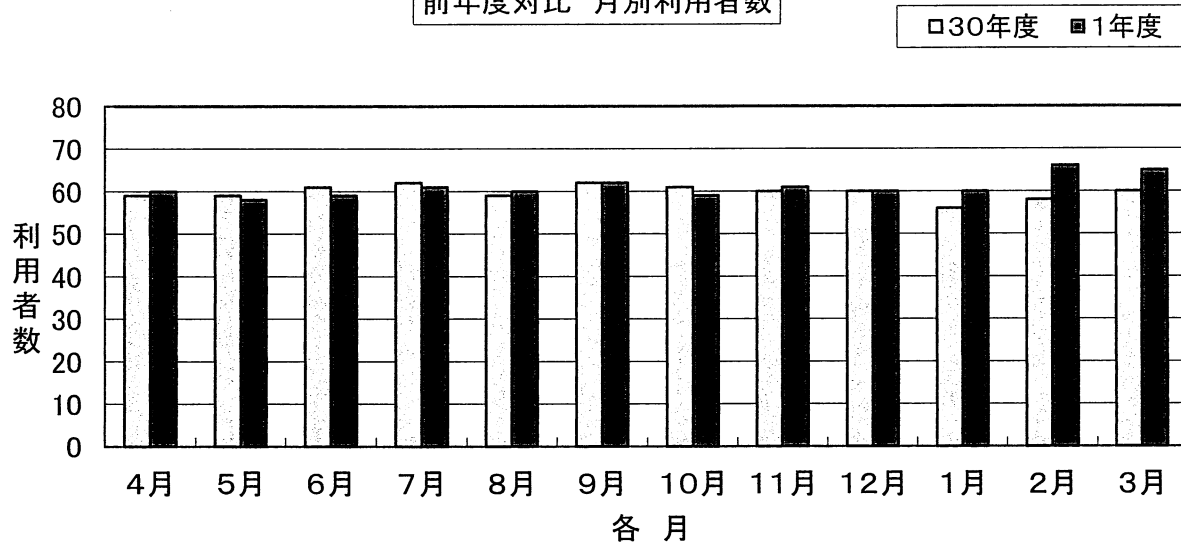
令和1年度 町別利用者数統計 (延べ)



令和1年度分 利用者数 統計

	地域支援	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	1	19	11	10	8	3	3	3	60
5月	2	1	20	10	10	8	3	2	2	58
6月	2	1	20	9	12	7	4	2	2	59
7月	2	1	22	10	10	7	4	2	3	61
8月	2	2	21	10	7	8	5	2	3	60
9月	2	2	23	9	8	9	4	2	3	62
10月	1	2	22	9	9	9	3	2	2	59
11月	1	2	25	9	10	7	3	2	2	61
12月	1	2	27	9	10	6	3	0	2	60
1月	1	2	24	9	10	6	5	0	3	60
2月	1	3	28	8	10	7	5	1	3	66
3月	1	2	28	7	10	8	5	1	3	65
合計	18	21	279	110	116	90	47	19	31	731

前年度対比 月別利用者数



古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり

1. 運営について

法人理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」のため、介護予防・機能訓練の充実、サービスの質の確保と向上に取り組みました。

食の自立支援事業では、食事を提供するとともに、ご利用者様の安否確認を行いました。

生活支援ハウスでは、入居者の日々の生活を見守るとともに、支援を行いました。

2. 処遇について

(1) デイサービス部門

通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりの状態などを踏まえたうえで、作成された通所介護サービス計画にもとづき、サービスを提供しました。

食 事

献立表をもとに、ご利用者様一人ひとりの身体の状態や嗜好などを考慮して、食事の提供に努めました。

入 浴

ご利用者様の状態にあった、入浴介助を行いました。

排せつ

ご利用者様の状態に応じ、声かけ・誘導による排せつ介助を行いました。

機能訓練

ご利用者様の心身の状態に応じて、日常生活を送るのに必要な身体機能の維持に努めました。

(2) 配食部門

おおむね65歳以上の単身世帯・高齢者のみの世帯で、調理が困難な方を対象にして、栄養バランスのとれた食事による配食サービスを行いました。

(3) 居住部門

デイサービスのご利用者様との交流をしたり、各種相談・助言などを行ったりするとともに、在宅福祉サービスを必要とすご利用者様については、その利用手続きについて援助を行いました。

古座川町高齢者生活福祉センターささゆり 令和元年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	事業対象者(1)	事業対象者(2)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
H30年度	294	425	1171	299	139	13	0	2,341	61.9%
令和元年度	443	462	1109	369	162	0	0	2,545	65.8%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人数	H30年度	35	35	34	35	29	28	30	31	31	30	28	30	376	
	R元年度	32	30	31	34	33	34	33	30	33	33	32	33	388	103.2%
延べ人数	H30年度	191	232	208	210	175	155	204	214	187	187	180	198	2,341	
	R元年度	213	214	209	238	209	213	232	192	203	204	198	220	2,545	108.7%

(3) 利用者平均介護度

平均	H30年度	1.18
介護度	R元年度	1.16

(4) 年間営業日数

年間	H30年度	252
営業日数	R元年度	258

※事業対象者も含む

(5) 登録利用者数 (単位:人) 3月31日現在

	R元年度	H30年度
男性	8	7
女性	25	23
合計	33	30

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和2年3月31日現在

65歳まで	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
0	0	0	2	3	10	15	3	33

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元年度合計	H30年度合計
ヒヤリハット報告	2	0	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	8	10
事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	1	1	0	0	1	2	0	1	0	8	10

(8) 食の自立支援事業(配食サービス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元年度合計	H30年度合計
配食数	109	120	110	136	106	120	127	125	122	118	126	140	1,459	1,820

(9) 生活支援ハウス(居住)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6

南紀ケアプランセンター

1. 運営について

介護保険制度における要介護者が、各種サービスを利用できるように、ご利用者様とご家族様の委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整をし、居宅介護支援を行いました。

（延べ件数 1335 件、詳細別紙）

2. 事業内容

1 居宅介護支援業務および介護予防支援委託業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ 利用できるサービスの内容などの情報をご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な、解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ サービス担当者会議の開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ ご利用者様にサービスの内容について説明を行い、居宅介護サービス計画（ケアプラン）およびサービス利用票の作成を行い、同意を得ました。
- ・ ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施ならびにサービスの調整・変更を行いました。
- ・ ご利用者様の在宅生活が困難で、入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て、医師の意見を聴取しました。
- ・ ご利用者様が入院した際には、お客様・ご家族様のご理解を得たうえで病院に情報提供しました。また、ご利用者様が退院する際には、不安なく在宅生活を送れるように病院スタッフと連携をはかりました。
- ・ 介護予防支援についても、上記と同様の業務を行い、地域包括支援センターへの報告と書類提出を行うとともに、指導を受けながら、ご利用者様の状態に沿った予防支援を行いました。

II 介護保険内のその他のサービスの提供

(1) 福祉用具購入費支給申請の手続き

福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については、受領委任払いを含む購入費の支給手続きを行いました。

(2) 住宅改修の手続き

手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告するとともに保険者に事前連絡し、改修を依頼しました。また改修実施後に、受領委任払いを含む介護保険支給の手続きを行いました。

(3) 給付管理業務

サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成して、サービス費の請求業務を行いました。

(4) 介護支援専門員研修

- ・ 県主催の現任研修を受講するとともに、事業所内でも研修会を開いて専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。

III 多職種連携

(1) 医療機関との連携

- ・ 複数の医療機関との連携を強化するため、県や医療機関、他機関とともに医療と介護の連携について協議を重ね、関係が作れるよう取り組みました。
- ・ 退院支援がスムーズに行えるよう、医療機関と連携をはかりました。

(2) 地域ケア会議への参加

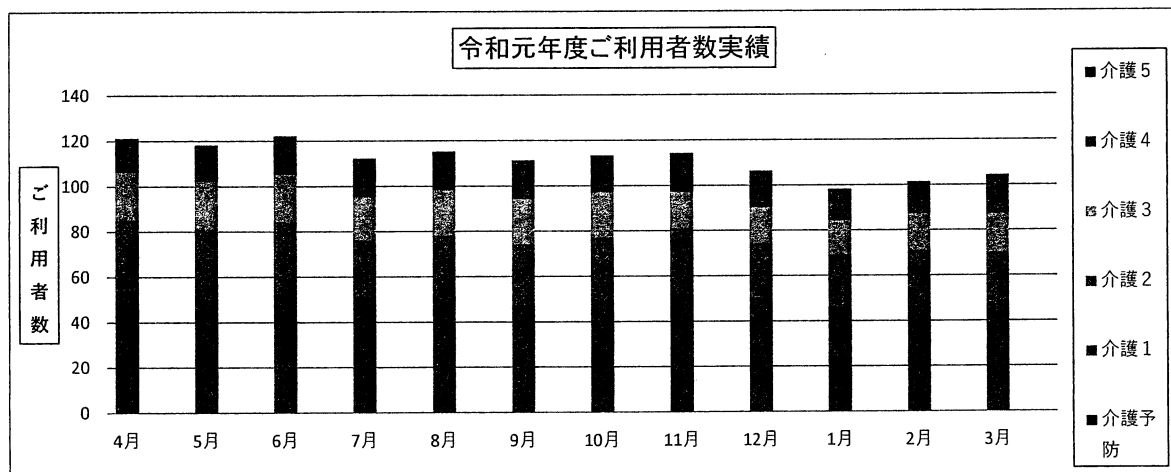
地域包括支援センターが主催する地域づくりのための地域ケア会議に参加し、関係機関のさまざまな職種の方々と協議を行いました。

(3) 包括支援センターとの連携

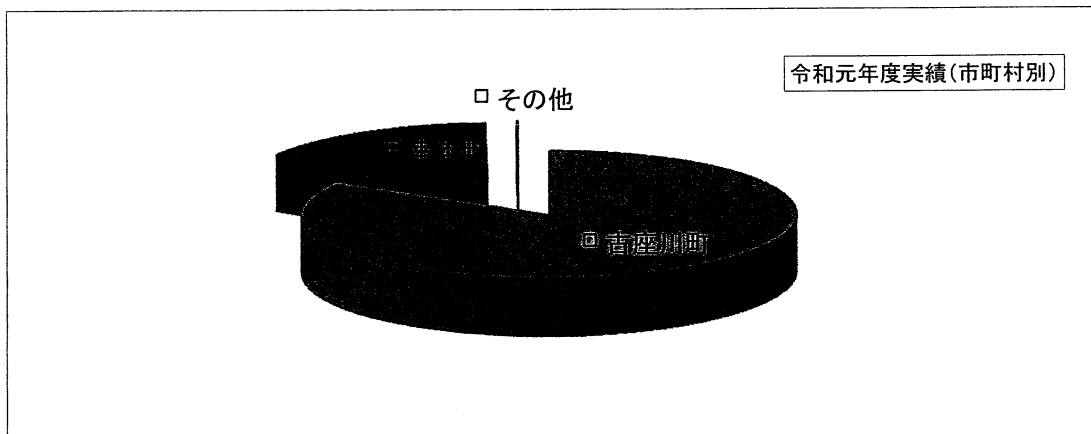
- ・ 虐待事案が発生した場合には適宜包括支援センターおよび保険者、関係機関と協議し、連携をはかりました。
- ・ 成年後見人が必要と判断されるお客様について包括支援センターおよび保険者と協議を重ね、必要に応じた支援を行いました。

南紀ケアプランセンター 令和元年度実績（ご利用者数）

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	0	54	31	21	12	3	121	121
5月	0	50	31	21	12	4	118	118
6月	0	52	32	21	12	5	122	122
7月	0	51	25	19	11	6	112	112
8月	0	50	28	20	11	6	115	115
9月	0	47	27	20	10	7	111	111
10月	0	49	28	20	9	7	113	113
11月	0	52	29	16	11	6	114	114
12月	0	50	24	16	10	6	106	106
1月	0	46	23	15	8	6	98	98
2月	0	46	25	16	8	6	101	101
3月	0	47	23	17	10	7	104	104
合計	0	594	326	222	124	69	1335	1335



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町	0	539	247	155	107	69	1117	1117
串本町	0	54	79	66	17	0	216	216
その他	0	1	0	1	0	0	2	2
合計	0	594	326	222	124	69	1335	1335



南紀ケアプランセンター那智勝浦

1. 運営について

要介護の状態となったご利用者様に対し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようご利用者様やご家族様の意向にもとづき、適切に保健・医療・福祉サービスなどを総合的かつ効率的に提供し、チームとしてのケアにつとめました。

また、各種サービスの提供が常にご利用者様の立場にたって公正中立に行われているかを確認し、各役場福祉課、地域包括支援センターや介護保険施設などとも連携をはかり事業の運営につとめました。

2. 事業内容

I ケアマネジメント業務

- ・ご利用者様、ご家族様のニーズを正確に把握するため、事業所独自のアセスメントシートを活用し、真の要望にお応えするようつとめました。また、自立支援につながるよう、インフォーマルサービスを位置づけ居宅サービス計画書を作成しました。
- ・支援目標にむけてサービスが適切に提供され、ニーズの解決につながっているかを事業所からの実施状況報告や個別援助計画書の提出を依頼し、連携をはかりながらご利用者様の状態の変化に迅速に対応できるようつとめました。
- ・ご利用者様宅に適宜訪問して、生活目標の達成度を確認し、必要に応じてサービス計画書の見直しを行い、生活課題の解決につとめました。

II その他の支援業務

- ・介護保険給付サービス以外にも、近隣の医療情報の提供、配食サービス、介護用品支給事業などのインフォーマルサービスなども積極的に助言し支援しました。

3. 専門職としての相談業務

専門職の役割が果たせるよう、常に窓口はオープンにし、ご利用者様のご家族様や地域の方々、各種事業所などから気軽に相談していただけるようにつとめました。

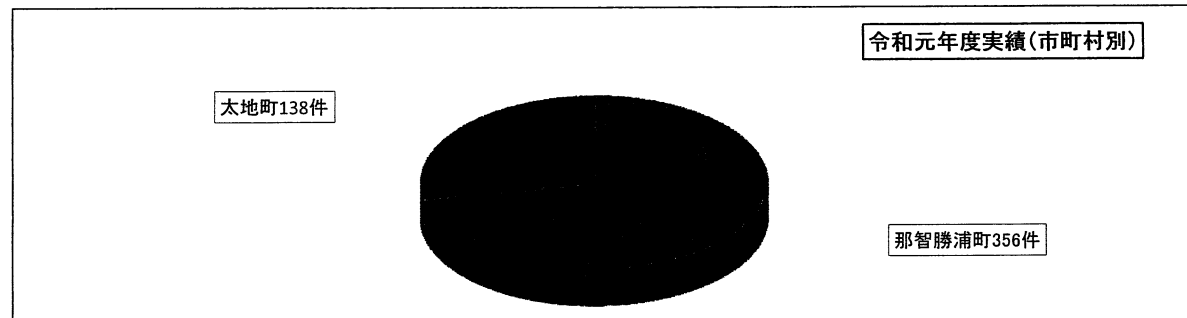
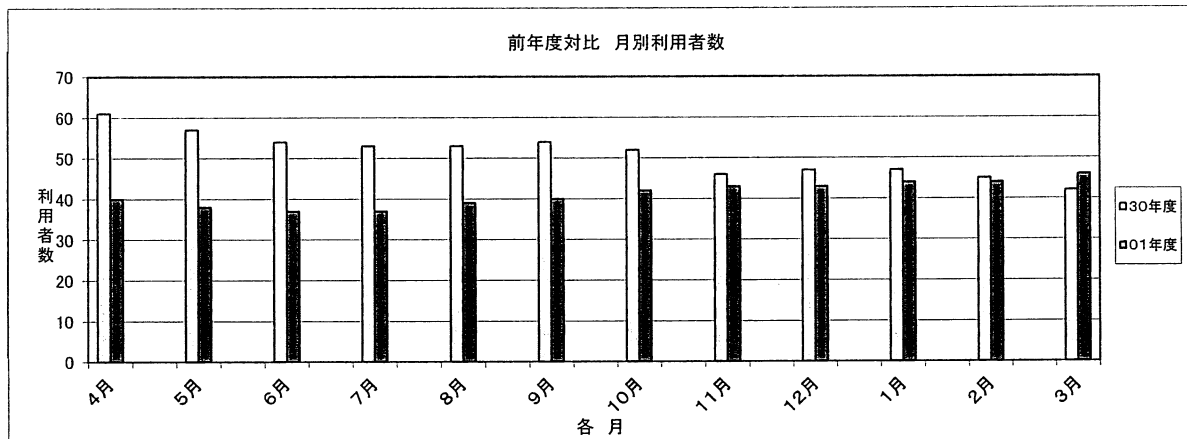
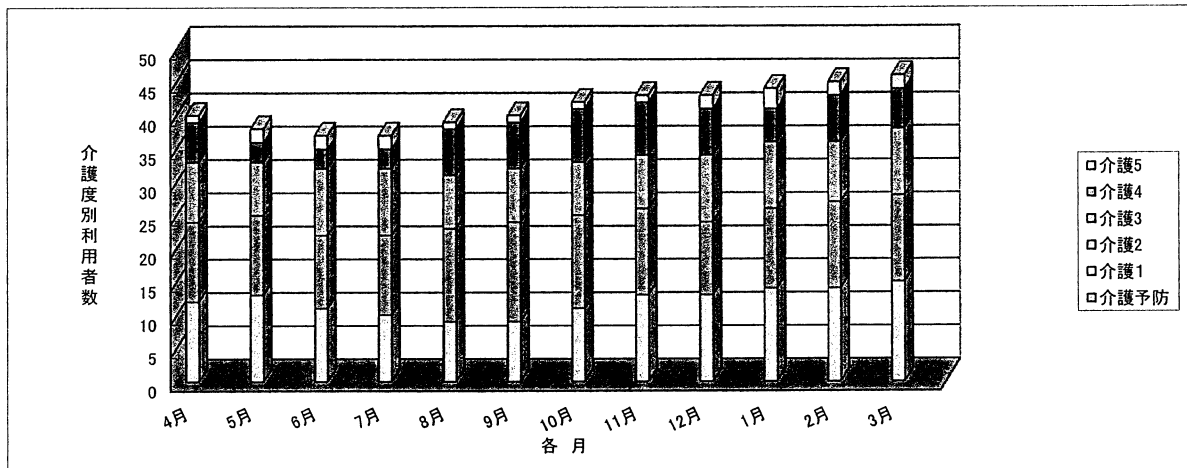
4. 高齢者の権利の養護

事業所が関わるケースからは、幸い虐待と思われる事例はなく、ご利用者様の権利が養護できました。各種事業所とも連携をはかり早期の発見・予防につとめました。

南紀ケアプランセンター那智勝浦 令和元年度実績

(単位：人数)

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月		12	12	9	6	1	40	40
5月		13	12	8	3	2	38	38
6月		11	11	10	3	2	37	37
7月		10	12	10	3	2	37	37
8月		9	14	8	7	1	39	39
9月		9	15	8	7	1	40	40
10月		11	14	8	8	1	42	42
11月		13	13	8	8	1	43	43
12月		13	11	10	7	2	43	43
1月		14	12	10	5	3	44	44
2月		14	13	9	7	2	45	45
3月		15	13	10	6	2	46	46
合計	0	144	152	108	70	20	494	494



南紀ケアプランセンター串本

1. 運営について

介護保険制度における要介護者が、各種サービスを利用できるように、ご利用者様とご家族様の委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整をし、居宅介護支援を行いました。

(延べ件数 426 件、詳細別紙)

介護予防支援については、地域包括支援センターの委託を受け、地域包括支援センターと契約されたご利用者様のサービス計画を作成し、各種サービス事業者との連絡調整をし、介護予防支援を行いました。

(延べ件数 49 件、詳細別紙)

2. 事業内容

I 居宅介護支援業務および介護予防支援委託業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ 利用できるサービスの内容・利用料などの情報を、ご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な、解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ ご利用者様の在宅生活が困難で、入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの、便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て、医師の意見を聴取しました。
- ・ サービス担当者会議を開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ 居宅介護サービス計画（ケアプラン）、サービス利用票の作成を行いました。
- ・ ご利用者様へのサービス内容の説明と、サービス利用票への同意を得ました。
- ・ ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施ならびにサービスの調整・変更を、行いました。
- ・ 介護予防支援についても、上記の同様の業務を行うとともに、地域包括支援センターへの報告と書類提出を行い、指導を受けながら、ご利用者様の状態に沿った予防支援を行いました。

II 介護保険内のその他のサービスの提供

(1) 福祉用具購入費支給申請の手続き

福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については、購入費の支給手続きを行いました。

(2) 住宅改修の手続き

手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告をしました。また改修実施後に、介護保険支給の手続きを行いました。

(3) 給付管理業務

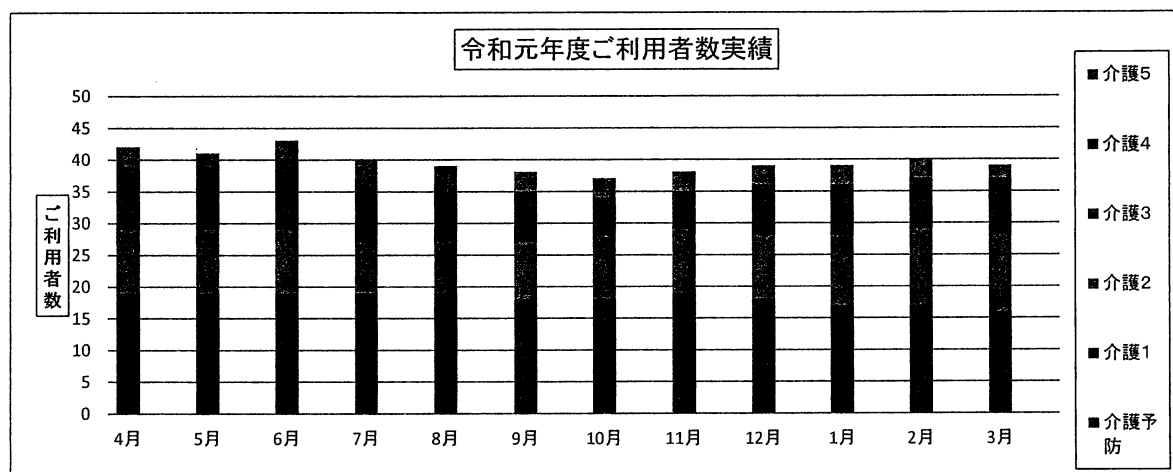
サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成して、サービス費の請求業務を行いました。

(4) 介護支援専門員研修

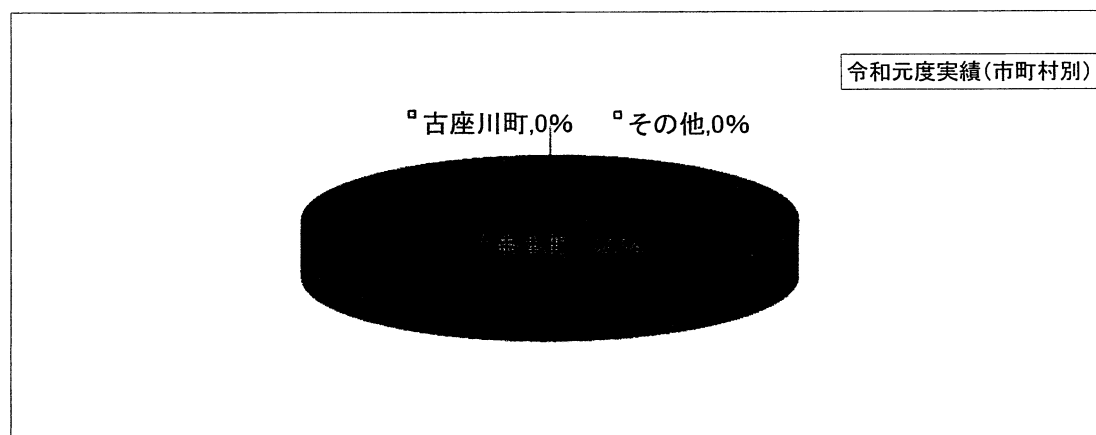
- ・ 県主催の現任研修、介護予防支援従事者就任時研修および現任研修を受講するとともに、研修会を開いて専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。

南紀ケアプランセンター串本 令和元年度実績 (ご利用者数)

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	5	14	10	9	1	3	37	42
5月	5	14	10	9	1	2	36	41
6月	4	15	10	10	1	3	39	43
7月	4	15	8	9	1	3	36	40
8月	4	15	8	8	1	3	35	39
9月	4	14	9	8	0	3	34	38
10月	4	14	10	6	0	3	33	37
11月	4	15	10	6	0	3	34	38
12月	4	14	10	8	0	3	35	39
1月	4	13	11	8	0	3	35	39
2月	4	13	12	8	0	3	36	40
3月	3	13	12	9	0	2	36	39
合計	49	169	120	98	5	34	426	475



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町								0
串本町	49	169	120	98	5	34	426	475
その他								0
合計	49	169	120	98	5	34	426	475



高瀬会訪問看護ステーション

1. 運営について

主治医の指示のもと、あらゆる世代のお客様の心身機能と生活機能の維持・向上を目指し、疾病や障害を持ちながらも、安心して自立した在宅生活を送れるよう、お客様とご家族様の支援に取り組みました。

お客様の意向を十分に把握した援助を目指して、お客様一人ひとりに応じた訪問看護計画を作成して取り組むとともに、個別研修や職員間の情報共有に重点を置き、質の高いサービスの提供をはかりました。

2. サービス提供について

- (1) 主治医の指示書と居宅サービス計画書にもとづいて、具体的な個別援助計画を作成し、お客様の要望に応じたサービスの提供を行いました。
- (2) お客様の病状変化と心身の状況あるいは環境などについて、的確に把握するよう努めるとともに、お客様とご家族様に適切な指導を行いました。
- (3) お客様の意思や人格を尊重し、お客様の立場に立って、サービスを提供しました。
- (4) 地域との結びつきを重視し、主治医・居宅介護支援事業者・関係市町村などと、密接な連携をはかるよう努めました。
- (5) 「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」を遵守しました。

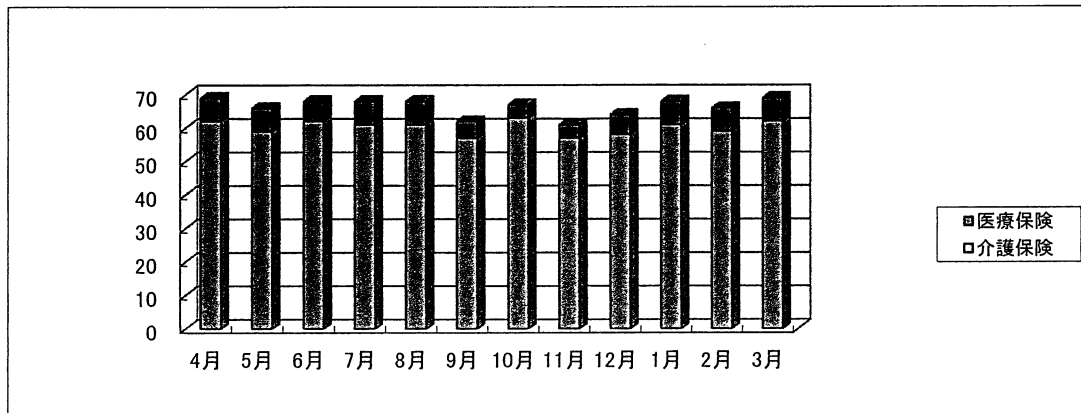
3. 苦情対応について

お客様やご家族様からの苦情に対して、「苦情申し出窓口」を設置するとともに、苦情受付担当者を配置し、「苦情解決要綱」にしたがい、迅速かつ適切に対応しました。

令和元年度 高瀬会訪問看護ステーション 実績

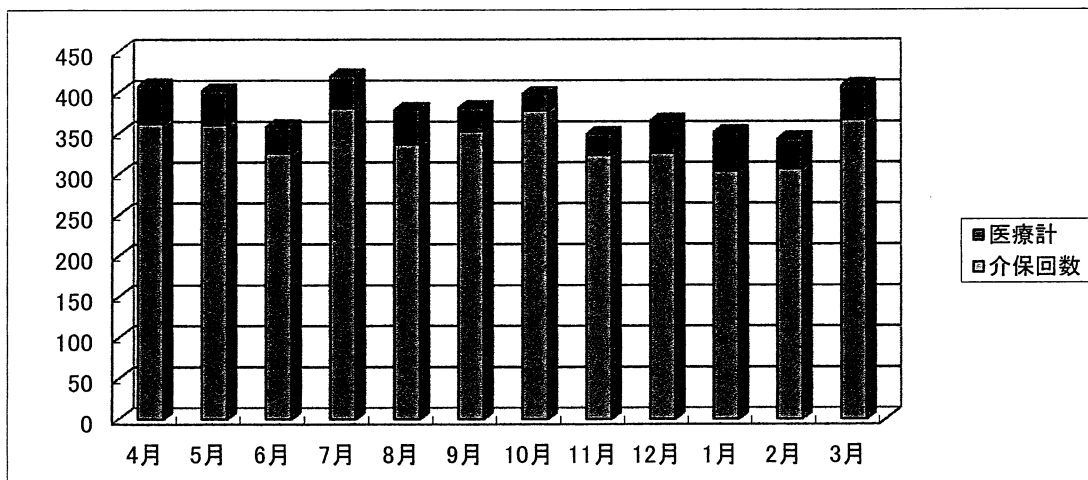
令和元年度件数別実績

	介護保険	医療保険	合計
4月	62	7	69
5月	59	7	66
6月	62	6	68
7月	61	7	68
8月	61	7	68
9月	57	5	62
10月	63	4	67
11月	57	4	61
12月	58	6	64
1月	61	7	68
2月	59	7	66
3月	62	7	69
合計	722	74	796



令和元年度種別実績回数

	介保回数	医療計	合計
4月	361	47	408
5月	360	42	402
6月	325	33	358
7月	380	40	420
8月	336	43	379
9月	352	29	381
10月	377	21	398
11月	323	26	349
12月	325	40	365
1月	303	48	351
2月	306	37	343
3月	366	42	408
合計	4114	448	4562



配食サービスセンター

1. 運営について

古座川町より委託を受けて、事業を実施しました。

実施日数は年間 310 日であり、年間の延利用者は 7,470 名、1 日平均 24.0 名の利用でした。

2. 事業実施

調理が困難な単身世帯や高齢者世帯を対象にして、毎日の利用のみならず状況に応じて、突発的な利用の申し込みにも対応し、ご利用者様の食事への不安の解消に努めました。

栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、居宅を定期的に訪問することにより、ご利用者様の安否確認を行いました。

令和元年度
湯ごりの郷配食サービス

1 運営について

那智勝浦町より、平成24年5月7日から委託を受け事業を実施し、8年目を迎えました。

実施日数は、12ヶ月間 258日で、12ヶ月間の延べ利用者数は9,959名、1日平均38.6名

の利用でした。利用者数は30年度より2,548名の減です。

この原因は、民間の配食事業者が増えたためと思われます。

平成24年度

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	357	396	508	524	547	755	739	634	651	683	688	6,482
日数	19	21	22	23	20	23	22	21	20	20	21	232

平成27年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,291	1,162	1,209	1,418	1,341	1,416	1,437	1,320	1,452	1,345	1,371	1,416	16,178
日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	20	21	23	261

平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,320	1,547	1,404	1,344	1,441	1,306	1,443	1,414	1,264	1,139	1,112	1,185	15,919
日数	20	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	255

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,137	1,253	1,146	1,109	1,155	1,008	1,142	1,055	930	925	822	825	12,507
日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256

平成31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	871	953	846	941	870	826	884	794	747	676	722	829	9,959
日数	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	22	258

2 事業実施

身体や世帯の状況などにより、食事を作ることが困難な高齢者の方々に、栄養の取れる食事を配達し安否確認を行いました。又、中から鍵をかけっぱなしの方、台所まで持参しなければ食事ができない方等が増えています。

今後も高齢者の在宅生活の維持及び福祉の増進に努めます。

古座川町地域包括支援センター

1. 運営について

古座川町より委託を受け、事業を実施しました。地域包括としての専門職配置は、社会福祉士の休職により介護支援専門員を配置しての業務となりましたが、行政や法人の協力を得ながら、成年後見に関する相談にも積極的に取り組み、高齢者の総合相談・支援業務を行いました。また、今年度より役場から受け継いだ介護予防事業についても、役場や社協と連携して町内各地区で実施し、普及を行ってきました。

2. 事業内容

(1) 総合相談・支援業務

- ・地域高齢者やそのご家族様からの様々な相談を受け、ニーズを的確に把握し保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるよう適切な機関につなげ、必要な援助を行いました。
- ・潜在的なニーズを持つ高齢者を見出し、保健・医療・福祉における必要な援助を行いました。
- ・多種多様なニーズに対応するため、行政・医療・福祉の機関や地域活動を行うさまざまな機関との話し合いの機会を持ち、連携できる体制づくりを行ってきました（地域ケア会議の活用）。

(2) 介護予防ケアマネジメント業務

- ・介護予防事業（町事業）と連携をはかり、高齢者が主体的な活動と参加意欲を高められるよう協力・支援を行いました。
- ・総合事業の対象者（介護予防ケアマネジメント）および要支援認定者（介護予防支援）に対し、連続的に一貫した介護予防プランの策定・評価などを行うとともに、介護予防支援については適正な介護報酬請求・給付管理などを行いました。
- ・「食」に関わるサービスを計画的・有機的に利用できるように努めました。

(3) 福祉用具・住環境整備相談

- ・高齢者の心身状況に応じた介護用品、福祉用具の活用や住宅改修により、生活や介護の質を高められるよう相談や指導・助言を行いました。

(4) 権利擁護業務

- ・高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業として、成年後見制度の相談受付、専門への紹介など状況に応じて関係機関と連携しながら支援を行いました。
また、認知症や虐待、閉じこもりなどといった高齢者に対し、状況に応じたネットワークで、適切な支援、継続的な見守りを行いました。
- ・認知症の方々や介護者が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、「認知症を知り、認知症の人や家族を見守る」サポーター養成講座を開催しました。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・「医療と介護の連携意見交換会」を今年度も継続し、各病院と各市町村の居宅介護支援事業所・地域包括支援センターとの連携を支援しました。
- ・地域の高齢者の状態に対応したケアマネジメントがはかれるよう、介護支援専門員に対する個別指導・相談などの後方支援を行うとともに、串本町地域包括支援センターと共催で勉強会を開催し、介護支援専門員の資質向上や他職種事業所・医療機関との連携強化を支援しました。（最終3月実施予定であった研修は、新型コロナ

ナウイルスの影響で延期)

(6) チームアプローチによる運営

- ・各職種が業務全体を十分に理解し、相互に連携・協働しながらチームとして地域包括ケアシステムを構築し、業務を行いました。
- ・チーム力強化と職員の資質向上をはかるため、法人内・事業所内の研修や外部研修・勉強会に参加し、自己研鑽に努めました。

(7) 広報・啓発活動

- ・地域の在宅介護に関する総合的な相談機関として周知・認識してもらえるよう、積極的に個別訪問を行い、連絡先カードを配布。地域活動への参加や、毎月1地区への定期巡回相談にて広報・啓発活動を行いました。
(今年度「よろず巡回」開催地区：小川・山手、池野山、高池、楠、宇津木、月野瀬、西赤木・田川、一雨・潤野・鶴川、直見・中崎、高瀬・潤野、長迫・真砂)

3. 職員配置

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・管理者及び主任介護支援専門員 | 1名 |
| ・社会福祉士 | 1名 (H30年5月より産休育休) |
| ・保健師 (古座川町保健師と兼務) | 1名 |
| ・介護支援専門員 | 1名 (H30年6月より配置) |

4. 実施地域

- ・古座川町

相談実績集計

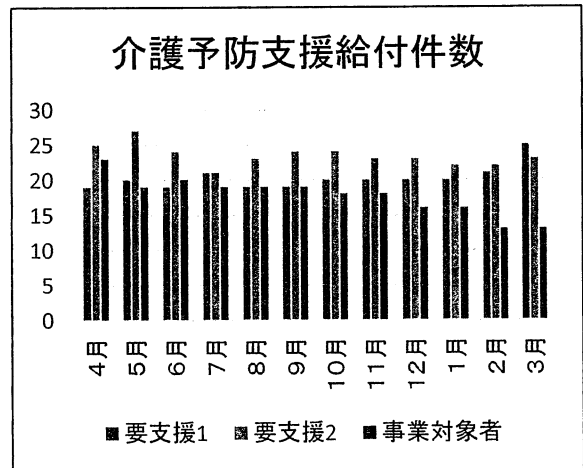
令和元年（平成31年）度

		年間合計	
相談方法	電話	1153	
	来所	192	
	訪問	2133	
	文書（FAX / Eメール）	0	
	その他の	0	
合計		3478	
総合相談支援	介護・生活相談	170	
	施設入所相談	14	
	医療・健康相談	207	
	障害者支援相談	2	
	苦情・介護事故相談	1	
	介護保険相談	330	
	状態確認	324	
	合計	1048	
	包括的支援事業	市町村報告	62
		医療機関との連携	113
		社会資源との連携	180
		サービス事業所との連携	392
		地域ケア会議開催	24
		センター普及活動	26
		その他の	0
合計	797		
権利擁護業務	認知症・虐待相談	169	
	消費者被害相談	2	
	成年後見制度支援相談	24	
合計	195		
ケアマネジメント 包括的・継続的支援業務	居宅サービス事業所相談	0	
	ケアマネジメント勉強会開催	5	
	ケアマネジャー支援相談	6	
	医療・介護の連携支援	2	
	その他（マネジメント支援）	7	
合計	20		
介護予防活動	介護予防ケアマネジメント	1871	
	介護予防事業実施（協力）	69	
	合計	1940	
指定居宅介護 支援事業	介護予防支援相談	444	
	介護予防支援計画	826	
	住宅改修・福祉用具相談	219	
	その他（介護予防）	46	
	合計	1535	

介護予防支援給付件数

令和元年（平成31年）度

	事業対象者	要支援1	要支援2	当月給付	
					うち委託
4月	13	28	23	64	0
5月	12	30	22	64	0
6月	12	29	24	65	0
7月	13	31	24	68	0
8月	12	35	24	71	0
9月	12	37	24	73	0
10月	13	34	24	71	0
11月	13	35	24	72	0
12月	13	36	22	71	0
1月	13	35	24	72	0
2月	11	34	23	68	0
3月	6	39	22	67	0
計	143	403	280	826	0



「食」の自立支援アセスメント
延べ 65件 (実人数 57名)

地域ケア会議実施

- ・地域ケア担当者会議 24回
- ・地域ケア個別会議 2回
- ・地域ケア推進会議 1回

巡回相談「よろず相談」

高池から鶴川、直見から西赤木
合計12回 参加人数 延べ 67名

- ・回覧にて周知
- 担当地区民生委員へ挨拶
- 地区内の対象各戸ちらし配布にて周知

認知症サポーター養成講座の開催

合計4回 参加人数 60名
一般住民対象： 平井・高池上郡

認知症初期集中支援チーム活動

対象者 3名 いずれも支援終了

認知症カフェの開催

合計8回 参加人数 延べ 158名

介護予防
支援
28%

相談実績

総合相談
19%

介護予防事業
35%

権利擁護
4%
包括的継続的
ケアマネジメント
0%

たかせ会記念診療所

1. 運営について

高瀬会高齢者総合ケアセンターの各事業所と密接に連携をはかるとともに、地域住民との交流を重視する当法人の基本姿勢を踏まえて、地域密着型の保険医療機関として取り組みました。

2. 外来診療

年間の外来診療者は915名(前年比4名減、月平均76.3名)、年間の来院数は2,993回(前年比114回減、月平均249回)でした。(表1)

表1 外来診療者の年間推移(令和元年度 延べ人数)

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	73	73	80	79	76	73	78	81	69	80	74	79	915
来院	248	259	274	253	220	238	322	261	193	250	233	242	2,993

表2 外来診療者の年間推移(平成30年度 延べ人数)

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	79	78	77	78	81	75	77	80	71	74	71	78	919
来院	291	239	251	251	290	251	268	251	263	242	242	268	3,107

3. 保健予防活動

インフルエンザなどの予防接種に取り組み、高齢者を中心にして、延べ64名(前年比2名減)の方に予防接種を実施しました。

また、当法人職員221名に対しても、インフルエンザ予防接種を実施しました。

4. 特殊業務等に係る健康診断

法人職員の特殊業務等に係る腰痛検査(年2回)を延べ335名(第1回170名、第2回165名)、夜勤業務従事者の定期健康診断を68名に対して実施しました。

人材育成事業

1. 運営について

平成28年4月1日より施行した「奨学金貸与規程」に基づき、法人の理念及び活動方針を理解し、法人の経営する施設での就職を希望する後継者を育成する目的で実施しています。

本年度末の資金貸与者は2名で、就学状況について提出された報告書等により状況の把握を行っています。

貸与状況表（令和2年3月31日現在）

貸与期間	学校種別	職種	人数
平成30年4月～令和3年3月（3年間）	専門学校	理学療法士	1人
平成30年4月～令和4年3月（4年間）	大学	理学療法士	1人

2. 事業実施

地域で開催される就職相談会での奨学金制度の説明や地元高校の進路指導部を訪問し奨学金の広報を行いました。

また、ホームページ等を利用して、わかりやすい情報の提供に努めています。

年度別貸与状況表（令和2年3月31日現在）

単位：名

年度	新規貸与者	貸与終了者	備考
平成28年度	1	0	
平成29年度	0	0	
平成30年度	4	3	途中辞退2名 (准看護師、介護福祉士)
令和元年度	0	0	
計	5	3	

